泉大津市議会議員 **林哲二　通信** Vol.２３

平成２３年４月版
発行：林哲二後援会
泉大津市松之浜町2-10-25
TEL/FAX：32-8895

笑顔あふれる泉大津市!!

笑顔でこどもがのびのび遊べる広場を！
笑顔で挨拶が飛び交う町を！
笑顔でみんなが助け合う町を！

私の思い⑭（ぶつかり稽古）

「昔のこどもは、アイスクリームを家で食べたくても、持ち帰れず諦めた。宿題が終わらなければテレビを見るのも我慢した。今はドライアイスで持ち帰り冷凍庫に保存、テレビは録画すればよい。便利になると、我慢したり諦めたりしなければならないことはなくなってしまう。」

（東京都立梅ヶ丘病院、市川院長談）

なにかと不便だったから、逆に忍耐強くなったとも言えます。
不便と忍耐は表裏一体なのです。　携帯電話、パソコンと際限なく出現する便利な機器が人間の忍耐をますます困難にしています。
問題は、生まれた時からの豊かさの中にいる子供に、
忍耐をどう教えたらよいのか、ということです。

◎**“なにくそ”の**力　◎**“負けてたまるか”の**心意気　◎失敗して人前で恥をかいてもそれに耐える力　◎失敗しても諦めることなく再び立ち上がる気力
◎どんな困難にもめげずに生き抜く力
これらを持てるようになるためにも忍耐は重要です。

そのために、親は、子どもに胸を貸し、**ぶつかり稽古**をさせることです。
ときには、子の前に立ちはだかる大きな壁になることです。
ときには、有無を言わさぬ体当たりの躾をすることです。
子育ては元来“厳しさ”と“優しさ”が同居していなければならないと考えます。　厳しいだけでも駄目、甘やかし過ぎても駄目。
子どもの将来のために・　・・・・・・・今こそ、みんなで考えましょう!!

去る3月11日の
東北地方太平洋沖地震による
犠牲者の方々に、
心より
哀悼の意を表しますとともに、
被災者の方々へ
心よりお見舞いを申し上げます。
犠牲者の御遺族、被災者の心境を
思いますと、
胸が張り裂けそうな思いですが、
一刻も早い復興を心より願って
やみません。

林　哲二　(昭和３６年６月２１日生　４９才)

- 泉大津市子ども会指導者協議会理事
- 南大阪振興促進議員連盟会計
- 東陽ふれあいネット地域活動委員長
- 緑化ボランティア協議会委員
- 泉大津剣道協会指導者
- 泉大津青少年指導員
- 松之浜町子ども会顧問
- 松之浜町自治会副会長
- 松之浜町緑化推進委員会代表
- 浜パティオ実行委員会副委員長
- 自主防災組織ネット松之浜副組織長
- 松之浜ソフトボール同好会監督
- 松之浜松寿会顧問
- 声掛けチームTogetherスタッフ